

部会名	環境安全部会	会議名	第5回会議		
日付	10月20日(金)	場所	鶴嶺東コミセンC会議室	記入者	茨城 安男

<主な内容>

1 市民集会のテーマと課題の解決について

テーマである「避難行動要支援者支援制度について」課題提起資料のコンテンツ（案）が提示され、その内容を確認した。

今後、問題提起と課題解決に向けて、市民集会（11月18日（土）午後1時30分から）本番までの間に、部会でも検討していく。

2 啓発用チラシについて

- これまでに作成した「ごみの分け方・出し方について」内容を確認して、分かりにくい事と不明な点を重点的にチラシに掲載する様に、環境事業センターと相談・検討を行った。

- チラシに掲載する事項として、取り上げたものは次の通りだが、その中で②のくつと③の布団類を最初に取り上げることとする。

- ① 衣装ケース（1段もので大きいもの、2段もの以上で小さいものの取扱いなど）

- ② くつ（再利用できるかどうかの判断の難しさ）

- ③ 布団・座布団・こたつ布団・ベッドパッド（3枚で1組、組み合わせは可）

- ④ 掃除機（ステック型、ステック型以外のものの取扱い・大きさに関わらず）

- ⑤ 在宅医療用廃棄物（感染症の疑いがあるかないか・針が露出しているかないか）

- ⑥ 電池（乾電池・充電式・ボタン電池など、分類の判断に迷う）

- なお、電池については、どの電池なのかによって、燃やせないごみ、電器店などのリサイクルボックス、電器店などのボタン電池回収缶へ分別して出さなければならないが、排出者はどの電池かわからないで出している、なおかつ、出した電池は不適正排出として集積場所に置かれることもないという実態から、どのような分別（環境事業センターなのか処理委託業者なのか）、処理の工程なのかを確認する必要がある、公共施設での回収案も含めて検討を要するため、今回は保留することとする。

- 啓発用チラシには、チラシ掲載事項6項目のほか、環境事業センターとして、間違っ出されると困ること（燃やせないごみにスプレー缶がそのまま出されごみ収集車の火災につながるようなことなど）も併せて掲載することとする。

3 次回会議について

- 部会の宿題として、掲載事項の「くつ」と「布団類」について、チラシをイメージして、絵コンテとコメントを考えて来て、みんなで検討する。

- 環境事業センターの宿題として、電池の収集・処理の工程を確認すること、間違っ出されると火災などの重大な問題となること、分別でわかりにくいと問い合わせの多いことなどをまとめてくる。

出席者 10名：環境事業センター 水谷・小島・夏苺

環境安全部会 高橋・中村・伊藤・赤羽根・小川・野本・茨城

<次回の予定・内容>

・11月17日（金）午後1時から

啓発用チラシの掲載事項のくつ・布団類について、検討する。